

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			東京都で定められた基準よりさらに広いスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2		保護者様からのご意見： ・まだ開設から1年余りで他の学年のお子さんがあまりいないので不明 職員配置基準より多い職員数を配置しています。 活動内容によってさらに手厚く配置するなど、臨機応変に対応しています。基準配置は児童指導員や保育士に加え、常勤換算で1名以上となるよう指導員を配置しています。さらに機能訓練士として言語聴覚士に加えて作業療法士を配置しました。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			保護者様からのご意見： ・バリアフリー化され、エレベーター等もありとても配慮されている。是非、肢体不自由の子どもたちも集まれる場としてもほしいです！！ 施設設備等は全てバリアフリー化されていますが、お子様の閉じこもり事故防止の措置として現在はエレベーターを停止し、日常的には階段を利用させていただいております。工夫しながら臨機応変に対応してまいります。 ご意見をいただきました肢体不自由のお子様の受け入れにつきましては、職員間で議論してまいります。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11			管理者、児童発達支援責任者、言語聴覚士が子どもの発達状況、保護者のニーズをそれぞれの立場で把握・分析し、総合的に反映された計画となるよう作成しています。 またスーパーバイザーとして首都大学東京大学院作業療法科学域の小林教授にお願いしてきましたが、施設としても作業療法士を配置したことで専門の立場からの分析をさらに計画に反映し、支援内容が伝わりやすくなるよう表現を改善していきます。 ご家族が感じているお子様の困り感(課題の要因)を深く探ることを目的として感覚と動作についてのアセスメントを開始したところです。データ分析をもとに保護者の方への説明を順次進めています。 さらにヴァイランドⅡと「構音検査キット」を導入し、実施に向けて準備を進めております。より詳細に分析し、今後の支援内容に反映してまいります。
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	1		保護者様からのご意見： ・1週間ごとにプログラムをいえるようだが、もっとたくさん活動があっても良いかと。 日々の活動内容についてはお子様の成長・発達に合わせて、プログラムのバリエーションを増やしてまいります。機能訓練士として言語聴覚士に加えて作業療法士を配置したことで、さらに専門性を生かした支援プログラムを盛り込んでいけるように改善を進めてまいります。 お子様の成長・発達をしっかりと見ながら、興味関心がどこに向かっているのかを分析し、自発的に継続して取り組めるような活動・遊びを提案・提供できるように努めます。

⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	2	<p>保護者様からのご意見： ・おそらく、子どもの特性上難しいのか不明。交流はあったほうが良い。 ・聞いたことがないのでわからない。 ・わかりません。</p> <p>公園での活動では、地域の子どもたちとのかわりがもてる時もあり、今後も積極的に実施していきます。児童館のイベントへの参加では集団が苦手なお子様もいらっしますので、継続的な利用にはつながっていません。今後は日程が合えば地域のイベントなどにも参加してまいります。</p>
⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			<p>契約時に管理者が行っています。</p>
⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11			<p>活動参観日等のご希望については今後年間予定の中で実施できるよう検討してまいります。また、お子様の活動の様子はいつでも見学していただけます。お友達との関りなど見ていただければと思っています。公園などの外出活動もございますので、事前のご連絡をお願いいたします。</p>
⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		<p>保護者様からのご意見： ・支援計画作成時に面談</p> <p>通所の送迎時にお話したり、電話等でいつでも話しやすいよう心掛けております。言語聴覚士に加え作業療法士も配置いたしましたので、専門分野についてのご相談にも対応できるようになりました。日程調整など気軽にお申込み頂けるようお知らせしてまいります。</p>
⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	7	1	<p>保護者様からのご意見： ・あまりない？ ・保護者同士が顔を合わせることが無い。 ・わかりません。</p> <p>まだ利用者が少なく父母の会の活動はありませんが、希望があれば積極的にご支援できるよう努めます。気軽に参加していただける家族参加の企画を定期的開催し、年間計画、会報、ホームページ等でお知らせしてまいります。</p>

保護者への説明等

<p>⑪</p>	<p>子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p>	<p>6</p>	<p>4</p>	<p>保護者様からのご意見： ・今のところよくわからない。 ・文章作成能力(誤字・脱字等)、物品管理能力(タオルや手提げかばんのを忘れ、他人の物が入っている等)については改善を要す。</p> <p>頂きましたご意見に対しまして、文章作成能力(誤字・脱字等)を高めていくよう努力してまいります。また物品管理能力(タオルや手提げかばんのを忘れ、他人の物が入っている等)の改善に向けて、職員間で声を掛け合い最善の注意を払ってまいります。</p> <p>その他、苦情への対応については契約時の重要事項説明書にて、ご説明をさせていただいております。</p> <p>施設においては管理者が苦情解決責任者となっておりますが並びに法人本部の統括責任者、さらに施設独自の取り組みとして第三者委員を2名(社会福祉士・保健師)お願いしておりますので、適切な対応に努めてまいります。</p> <p>外部の窓口といたしましては、市の障害福祉課と福祉権利擁護センターの窓口のご紹介、さらに東京都社会福祉協議会の「福祉サービス運営適正化委員会事務局のご紹介も記載しておりますので、必要時にはご活用ください。</p> <p>また、お子様への周知につきましては、分かりやすい方法を工夫してまいります。</p> <p>今後も保護者の方からのご意見には可能な限り話し合い、対応してまいります。</p>
<p>⑫</p>	<p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p>	<p>9</p>	<p>2</p>	<p>必要に応じて絵カードや写真などを日常的に活用しております。</p>
<p>⑬</p>	<p>定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか</p>	<p>8</p>	<p>2</p>	<p>保護者様からのご意見： ・わかりません。</p> <p>毎月のお便りでは活動の写真や次月の予定、連絡事項などをお伝えしてきました。今後はホームページを活用し、日々の活動の様子を伝えるように努力します。自己評価の結果につきましては、開所後初めて行い、ホームページで公表いたしました。</p> <p>初年度はお子様方の様子の把握に努め、楽しめる行事をその都度模索しながら行ってまいりました、これまでの反省を生かして年間計画を早めにつけて、長期期間中の行事等についてもより充実させていきます。</p>

	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	2	<p>事務所内の鍵付き書庫を設置して全ての個人情報ファイルを保管しています。使用後の施錠、営業終了時には事務所の出入り口も施錠するなど十分注意して取り扱っています。写真撮影や掲載等、個人情報に関わる部分については事前に保護者の方々に説明・同意を書面でいただいています。破棄する書類はシュレッダー処理をしています。</p>
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2	<p>各マニュアルは策定し、順次訓練を実施してきました。保護者の方々が手に取りやすいよう図書棚に設置いたします。 応急手当WEB講習を施設として開催し、消防職員の方による小児の心肺蘇生とAED操作訓練を受講しています。 防犯訓練は多摩警察の協力をお願いし、これから実施を予定しています。 その他、送迎車の運転手は法人が開催する安全運転講習並びに路上運転講習を受講するよう義務付けています。 全ての職員で共有していきます。</p>
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4	<p>保護者様からのご意見： ・行われたか不明 ・分かりません。</p> <p>お子様と一緒に毎月1回通報・消化・避難訓練等を実施しています。曜日によっては参加できないお子様もいらっしゃいます。実施時にはお知らせしてまいります。 施設全体としては消防署のご指導をいただきながら消火訓練及び避難訓練を実施しました。また消防署防災担当職員の方を講師に迎え「水害等の避難訓練時の着眼点について」をテーマに研修を行い、洪水時の避難確保計画を策定しています。地震、火災、水害を想定した避難訓練・通報訓練も実施してきました。またMCA無線を施設に設置し、法人全体として月1回の安全確認の訓練と常勤職員は携帯での安否確認訓練を行っています。</p>
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9	2	<p>保護者様からのご意見： ・「あのね行くー！」ととても楽しみにしています。 ・毎回満面の笑みで帰ってきます。持って帰ってくる工作等のレベルも高く、いつも驚きです。そのため、心から褒めることができます。 ・日数が少ないためどちらともいえない。</p> <p>お子様が通所を楽しみにしていただき大変うれしく思っております。お子様の困り感や成長、新たな一面を発見し、それらが私たち職員の自己研鑽の意欲につながっています。職員ひとり一人がお子様の様子から多くのことを学んでいると日々実感しています。</p>

⑱	事業所の支援に満足しているか	10	1	<p>保護者様からのご意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのスタッフも子どもに愛情いっぱい注いでくださるので、とてもうれしく思っています。子どももいつも楽しみにしています。マンツーマンで接している事業所はめずらしいのでは？ ・スタッフの方々にとってもあたたかくむかえていただきとても感謝しています。現状も今後の居場所については悩ましい問題です。子どものためにも、いろんな人や子どもとの関りを増やしていきたいと思っています。 ・工作やおもちゃなどに牛乳パックや段ボール、ペットボトルなどを使い、お金のかからない工夫をととてもよくやっていると思います。時にはそのような材料の寄付を求めても良いのでは？ ・入口にあるお飾りが季節にあわせてとてもきれいです。毎月楽しみにしています。 ・設立があさいため、今後の人員配置、イベント、就職支援(中学位に)などの対応が増えてくださることを望みます。 ・長期休みも柔軟に対応してくださり感謝しています。 <p>今後、楽しいイベントなども企画してまいります。まだ小学生のお子様为中心ではありますが、成長とともに放課後等デイサービスの卒業後の支援についても法人として検討しております。皆様との末永い歩みが継続できよう努力してまいります。</p> <p>お子様の発達状況を詳細に分析できるよう、専門ツールを導入いたしました。その分析を裏付けるためには日々の関りの中での変化を見逃さない職員の確かな目(感覚)こそが重要と考えています。職員の専門性を常に高め、日々努力を重ねてまいります。お子様の笑顔と成長が私たちの励みです。</p> <p>保護者の皆様のご協力があつてこそ、お子様が通ってくださっていることに感謝の気持ちを忘れることなく、自己研鑽を重ね、支援の質を深めていけるよう努力を重ねて参ります。</p>
---	----------------	----	---	---

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。